

【協議 1】（当日配布）

玉名市地域公共交通計画の達成状況
について

玉名市地域公共交通計画とは

- 本市における最適で持続可能な地域公共交通体系を構築するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第1項に規定する地域公共交通のマスタープランとして令和6年3月に策定。
- 対象区域：玉名市全域
- 計画期間：令和6年度から令和10年度の5年間

計画の達成状況及び評価について

- 玉名市地域公共交通計画では、1年ごとに事業の実施状況や評価指数を整理し、計画の進捗状況と効果の検証・評価を行う。
- 評価の結果については、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第七条の二の規定により次ページのとおり国土交通大臣に報告する。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

玉名市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
1 既存の地域公共交通を基本とし、持続可能で移動ニーズに即したネットワークの形成					
路線バス及び乗合タクシーの収支率の改善 【R6年度目標】 路線バス：34.7% 乗合タクシー：12.3%	・玉名駅の利便性向上に向けた機能整備 ・近隣自治体との連携による既存バスの運行・維持・改善 ・玉名市街地循環線等の地域内交通の利便性向上に向けた再編 ・バスの利用環境の改善 ・一般タクシーの運行・維持・改善 ・乗合タクシーの運行・維持・改善 ・わかりやすい情報の発信 ・外出支援サービス及び福祉バスの継続 ・地域住民主体による新たな交通手段について支援 ・先端技術の活用に向けた研究	【路線バス】 玉名市統計データ（経常収入/経常費用）から整理する。 【乗合タクシー】 玉名市統計データ（利用料金/市の支出）から整理する。	R6年度実績 【路線バス】34.1% 利用者数は増加したものの、経常費用が増加したため目標の数値には及ばなかった。 【乗合タクシー】11.9% R6年度は運行便数と台数を増加したことにより、市の支出が増となった。	【路線バス】●未達成 ・引き続き、再編後の運行を継続。 ・「バス無料の日」など利用促進を図り、運賃収入を増加させる。 【乗合タクシー】●未達成 ・区の集会等で制度についての周知及び利用登録の受付を行う等、利用促進を図り運賃収入を増加させる。 ・運賃について、見直しの検討を行う。	
路線バス及び乗合タクシーの財政負担額の改善 【R6年度目標】 路線バス：75,907千円 乗合タクシー：42,035千円		玉名市統計データから整理する。	R6年度実績 【路線バス】55,420千円 R6年10月にI路線（南岡線）が廃止されたことや、公共交通計画を作成したことにより、国庫補助（フィーダー補助）が前年に比べ増額したため財政負担額が減少したと考えられる。 【乗合タクシー】60,485千円 R6年4月より各エリアの便数を統一して増便したことと、R6.10月から利用が多い便の台数を増やしたことで財政負担額が増加した。	【路線バス】●達成 ・地域住民の声を参考としながら、路線を維持する。 ・近隣市町と情報交換を行い、更なる運行効率化を検討。 【乗合タクシー】●未達成 ・引き続き運行を維持。 ・地域住民のニーズを住民説明会などで把握し、更なる運行効率化を検討。	
玉名市地域公共交通全体の総合的な満足度		市民アンケート調査	—	—	R10年度アンケート実施時に評価を行う。
外出時に交通手段がなくて困ることがあると回答した人の割合		市民アンケート調査	—	—	R10年度アンケート実施時に評価を行う。
2 利用促進及び認知度向上を図り、未来へつなぐ地域公共交通の実現					
地域公共交通利用者数 【R6年度目標】 JR：3,090人 路線バス：505,320人 乗合タクシー：14,216人	・新玉名駅の利用促進に向けた取組の検討 ・近隣自治体との連携による既存バスの運行・維持・改善 ・玉名市街地循環線等の地域内交通の利便性向上に向けた再編 ・バスの利用環境の改善 ・高校生・大学生に対する支援 ・一般タクシーの運行・維持・改善 ・認知度向上のための説明会の実施 ・わかりやすい情報の発信 ・地域公共交通を身近に感じるための体験・機会の創出 ・市内に立地する高校・大学や商業施設等と連携した利用促進・利便性向上の取組 ・先端技術の活用に向けた研究	鉄道：JR九州公表資料から整理する。 路線バス：玉名市統計データから整理する。 乗合タクシー：玉名市統計データから整理する。	R6年度実績 【JR】-人（会議日時点では未公表） 【路線バス】512,576人 各路線によって増減はあるものの、全体的に増加。 【乗合タクシー】21,032人 R6.4月より各エリアの運行便数を統一（増加）したことにより、利用者数は増えている。	【JR】●達成 ・玉名駅の利便性向上に向け、庁内担当部署と連携して検討を進めていく。 【路線バス】●達成 ・利用者数は増加傾向にあり、今後も利用促進を図る。 ・R6年度より実施している「バス無料の日」など、乗るきっかけ作りを引き続き実施する。 【乗合タクシー】●達成 全てのエリアで利用者は増えているものの、制度の周知が十分ではないため、各地区の集会等で市民へ直接説明を行う。	
乗合タクシーの認知度		市民アンケート調査	—	—	R10年度アンケート実施時に評価を行う。
3 多様な関係者等との連携による地域公共交通の確保・支援					
他分野との連携 （R10年度までに1件以上）	・高校生・大学生の通学に対する支援 ・わかりやすい情報の発信 ・地域公共交通を身近に感じるための体験・機会の創出 ・市内に立地する高校・大学や商業施設等と連携した利用促進・利便性向上の取組 ・外出支援サービス及び福祉バスの継続 ・地域住民主体による新たな交通手段について支援 ・先端技術の活用に向けた研究	検討実績により整理する。	R6年度実績 ・観光との連携 地元商店などが所属する「高瀬裏川筋を愛する会」主催の高瀬裏川花しょうぶまつりのメインイベント日に「玉名市街地循環線バス無料の日」を実施。	●達成 ・以前からイベント時の駐車場不足が問題視されていた。当日は会場から離れたところに車を停めて、バスに乗る方も多く見られたため、駐車場不足や渋滞の緩和にも多少影響を与えたものと思われる。 ・市民からも好評の声が多く、今後も引き続き実施していく。	
新たな移動手段の導入可能性の検討 （R10年度までに1地域以上）		検討実績により整理する。	無人運転バスについて検討。	●未達成 導入の検討を進めたものの、財政負担の面から実証実験を見送った。今後は先進地の動向を研究しながら、再検討を行う。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。